

2019年7月6日 ~ 2019年7月12日

2019年7月17日

先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利はほぼ横ばいとなりました。

先週は、前週末にエルドアン大統領がトルコ中央銀行総裁を解任したことを嫌気して、トルコ・リラは下落して始まりました。その後いったん上昇に転じたものの、7月12日（現地、以下同様）にロシア製のミサイル防衛システムが納入されたことが報道されたことにより再度下落しました。国債金利は小動きとなりました。

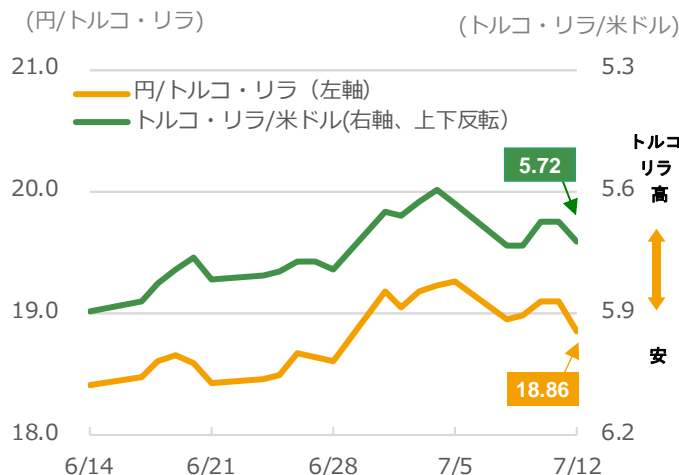
また、格付会社のフィッチ・レーティングスは12日、中央銀行総裁の解任は信頼感を損なうとして、同国の自国通貨建ての長期発行体格付けを「BB+」から「BB-」に、外国通貨建ての長期発行体格付けを「BB」から「BB-」に格下げしました。

今週の見通し

今週は米国から、トルコに対する経済制裁が発表される見込みであると報道されています。ただし、G20（主要20カ国・地域）首脳会議後の報道で予想されたような、形式的なものとなれば楽観的な見方が広がる可能性があります。トルコ・リラにとって不確定要素が多い一方、当局の各種政策によりトルコ・リラ売りのコストが高いことから、投資家が積極的にトルコ・リラを売買いし難い環境にあると考えます。今週のトルコ・リラは政治的ヘッドラインに伴う値動きに警戒しつつ、引き続き比較的小動きにとどまるとみています。

トルコ・リラ 為替推移

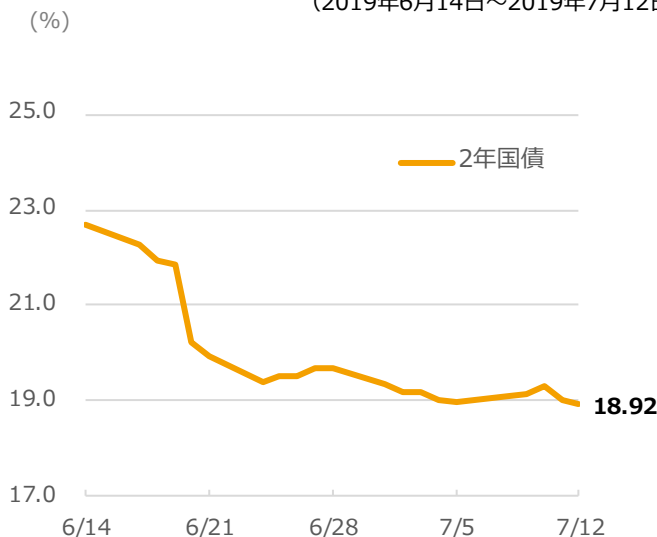
(2019年6月14日~2019年7月12日)



*四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

トルコ 金利推移

(2019年6月14日~2019年7月12日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。